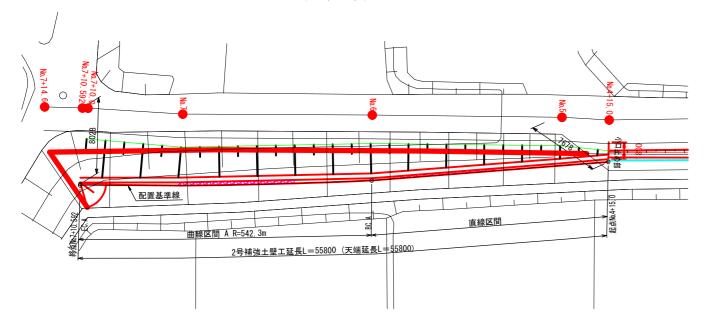
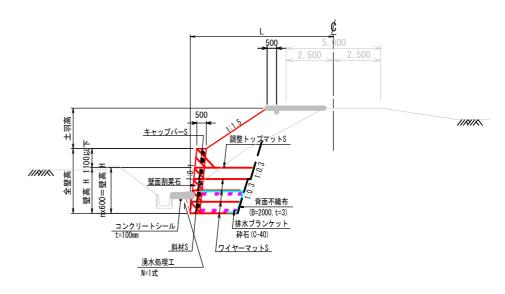


# 2号補強土壁工計画図

平 面 図 S=1/200



標 準 断 面 図(1) s=1/100 (排水ブランケット)



 $\gamma = 19 \text{ k N/m}^3$ 

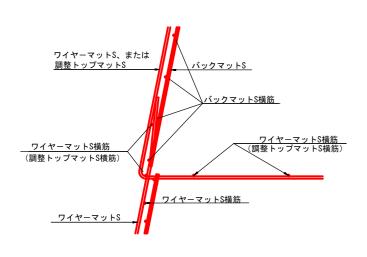
#### 特記事項

盛土材の単位体積重量

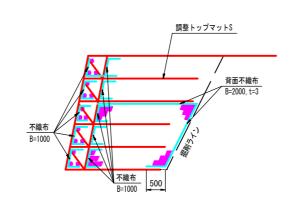
・盛土材は以下に示す土質材料もしくは岩石質材料を使用すること。 (土質材料)・細胞分の含有量が 75 % 以下のもの。 (岩石質材料)・最大粒径が300mm以下の硬岩ずり、 もしくはスレーキング率30%以下の軟岩ずりで、 細数分の含有量が 25 % 以下のもの。 ・掘削時に切土面からの承が者しく多い場合は、別途律水対策を 追加すること。 ・基礎地盤の極限支持力が、上記の必要な極限支持力以上であること を確設すること。

施工管理基準値		
項目(頻度)		
盛土材の締固 め度(盛土材 500m³に 1回)	・JIS A 1210のA、B法による 最大乾燥密度の95%以上又は。 C.D.E法による90%以上とする。 ・細粒分含有量が多い場合(20%以上)で 上空気間徹率を13%以下とする。 ・岩石質量土材の場合は、工法規定方式で 管理するものとする。	
完成後の壁面勾配	・±0. 03ΣΗおよび30cm以内。 ここでΣΗは壁高。	

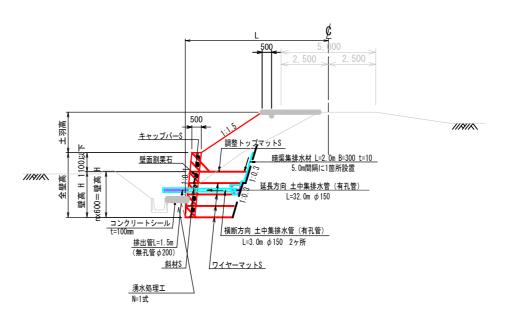
壁面組立図



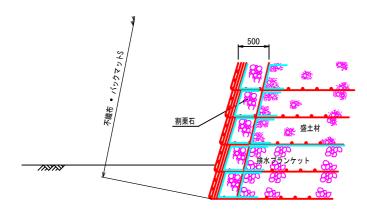
排水ブランケット部不織布取付詳細図



標 準 断 面 図 (2) s=1/100 (通常排水)

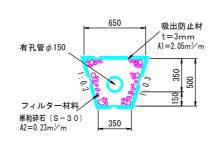


#### 壁背面の植生用客土



盛土材がレキ質土等で、植生に支障のある場合は、 上図の様に、壁の背面を植生用客土により盛土する事。

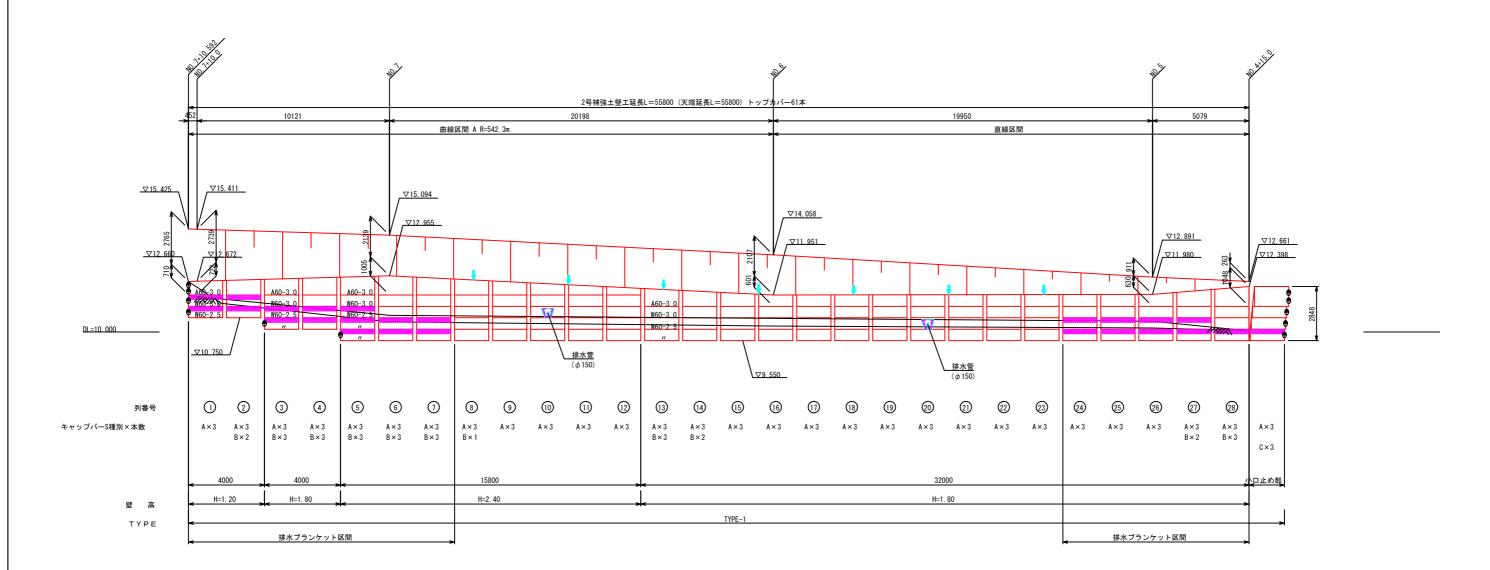
### 土中集排水管詳細図 s=1/20

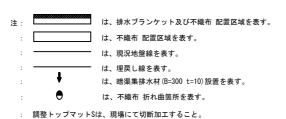


工事名	平成29年度 市道西岡線道路改良工事(Ⅱ期)			
図面名	2号計画図			
年月日				
尺度	図	示	図面番号	2
会社名				
事務所名	伊賀市建設部建設 1 課			

## 2 号補強土壁工展開図

S=1/100





:	各壁高における部材寸法「径(mm)-控長(m)」は、同じ壁	高「H=壁高(m)」	に対して同じ配置とする。
:	展開図における補強材の省略記号は、以下の通りである。		

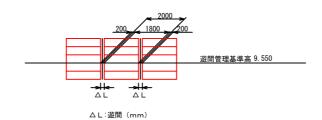
 マット種類
 60 - 30 in が長 (m)

 スットサイズ
 でットサイズ

 W (ワイヤーマットS)
 60 (φ6×5-200×250)

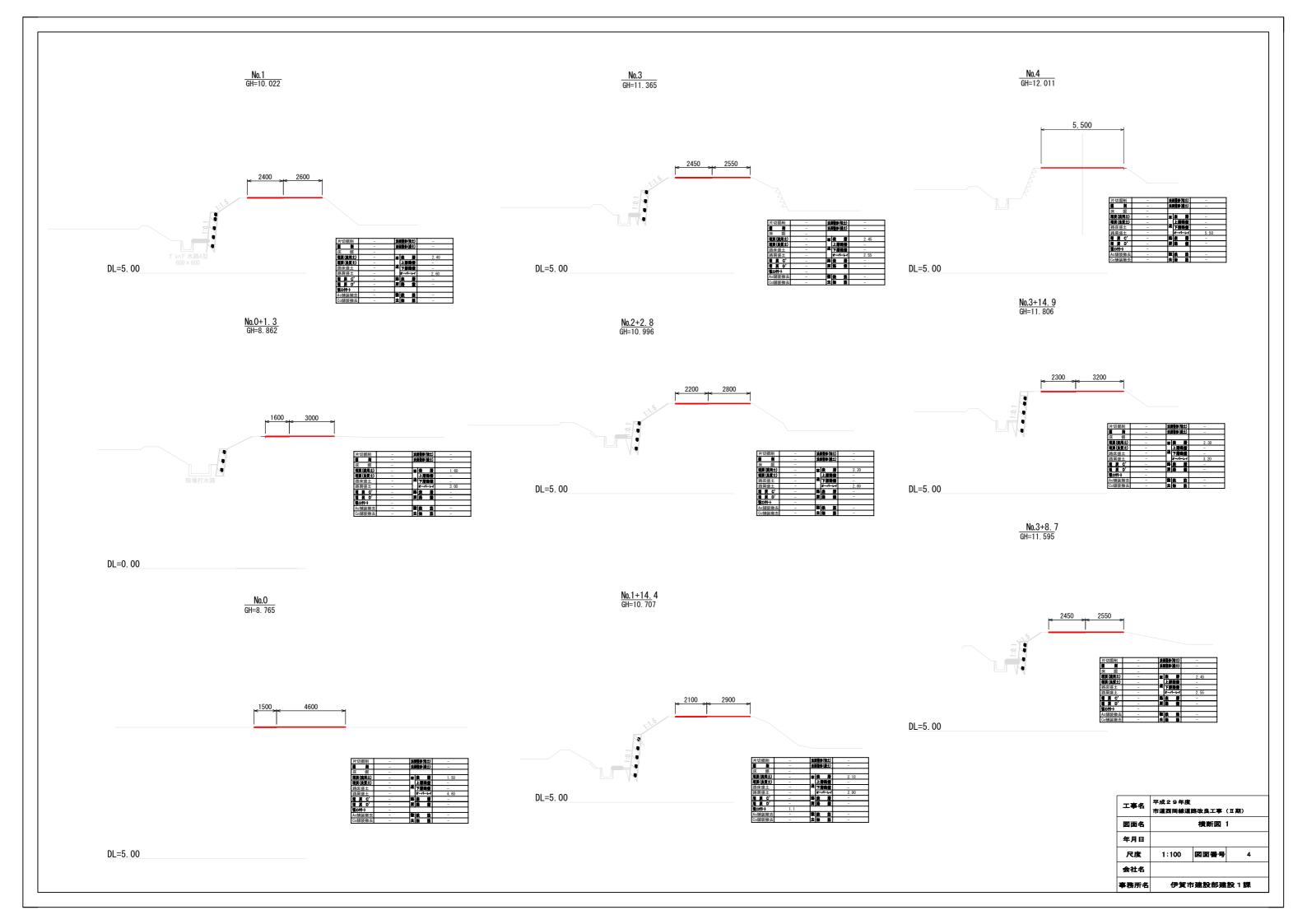
- : 斜材Sについて、1.8m~1.0m幅のワイヤーマット1枚に対し、斜材を3組設置する。 0.8m幅以下のワイヤーマット1枚に対し、斜材を2組設置する。
- : 遊間(ΔL)は壁面材と壁面材を設置する時の離れを示す。
- 壁面勾配が1:0.1であるため、曲線部においては設置高さにより遊間の値が異なる。なお、標準の遊間 (△L=200mm) は、遊間管理基準高 (FH=9.550) に設定している。

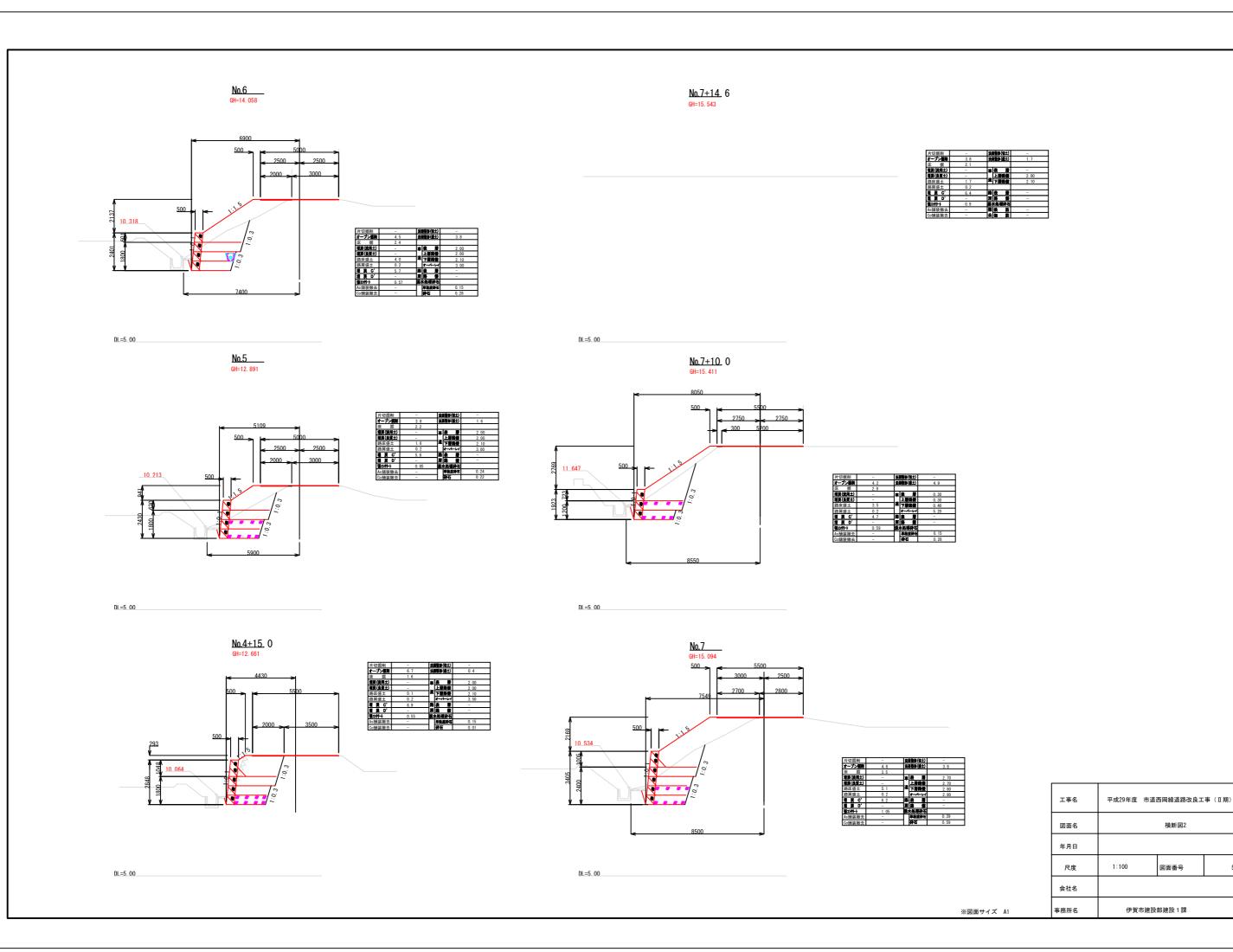
遊間表	A R=542.3m	
設 置 高	遊間距離	備考
DL= 11.950	199	
DL= 11.350	199	
DL= 10. 750	200	
DL= 10. 150	200	
DL= 9.550	200	基準高



工事名	平成29年度 市道西岡線道路改良工事 (Ⅱ期)			
図面名	2号展開図			
年月日				
尺度	図 示	図面番号	3	
会社名				
事務所名	伊賀市建設部建設 1 課			

※図面サイズ A1





横断図2